

シニアセンター

仲紀久郎

毎週水曜日土曜日の兩日は區内のシニアセンターなる施設にてリハビリ、入浴等を行ひ、晝食を攝り三時にはお八つを食し、一日を過ごすなり。余の歸宅時間四時半迄はまだまだ餘裕あり。

圍碁を好む御方有り。此の處、歸宅までの約一時間半、その人と圍碁を樂しむなり。とは云へ實力の差甚だしく、井目を置きても全く齒が立たぬ状態なり。それでも、一隅、二隅は何とか、我物と確保するを得るに及び、次は一遍を確保せんとするも何時の間にか余の石死にてあり修復ならず。

此處は食事の溫度管理が問題なり。温かかるとべき食事冷めて居り冷製の麻婆豆腐、青椒肉絲等他にては中々口にする能はず。小生意を決して苦情を述べたる處、斯かる苦情申し立てたるは小生が初めてとの事なり。されども試みに食せし關係者も余の意見に同意せり。吾等の年代の特に男性は食事に就きてとやかく言ふを潔しとせざるべく教育を受けをり。この施設老人施設としては珍しく男性の多ければ余が苦情の魁さきかけとの事なり。思ふに女性あまた數多おはしまさば今迄に既に苦情在りけん物と思はるるなり。それやこれやにて土曜日は別のデイサービスに変更せり。此方にては當然ながら温かき食事を愉しみつ。

(平成二十九年五月二十八日受附)

